

2023年12月15日（金）
名古屋大学 COI-NEXT マイモビリティ共創拠点 シンポジウム



広島大学



呉工業高等専門学校
National Institute of Technology (KOSEN)
Kure College



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO



交流の場が集積する 新モビリティ指向型都市の開発

～モビリティのリ・デザインによる15分都市の実現～

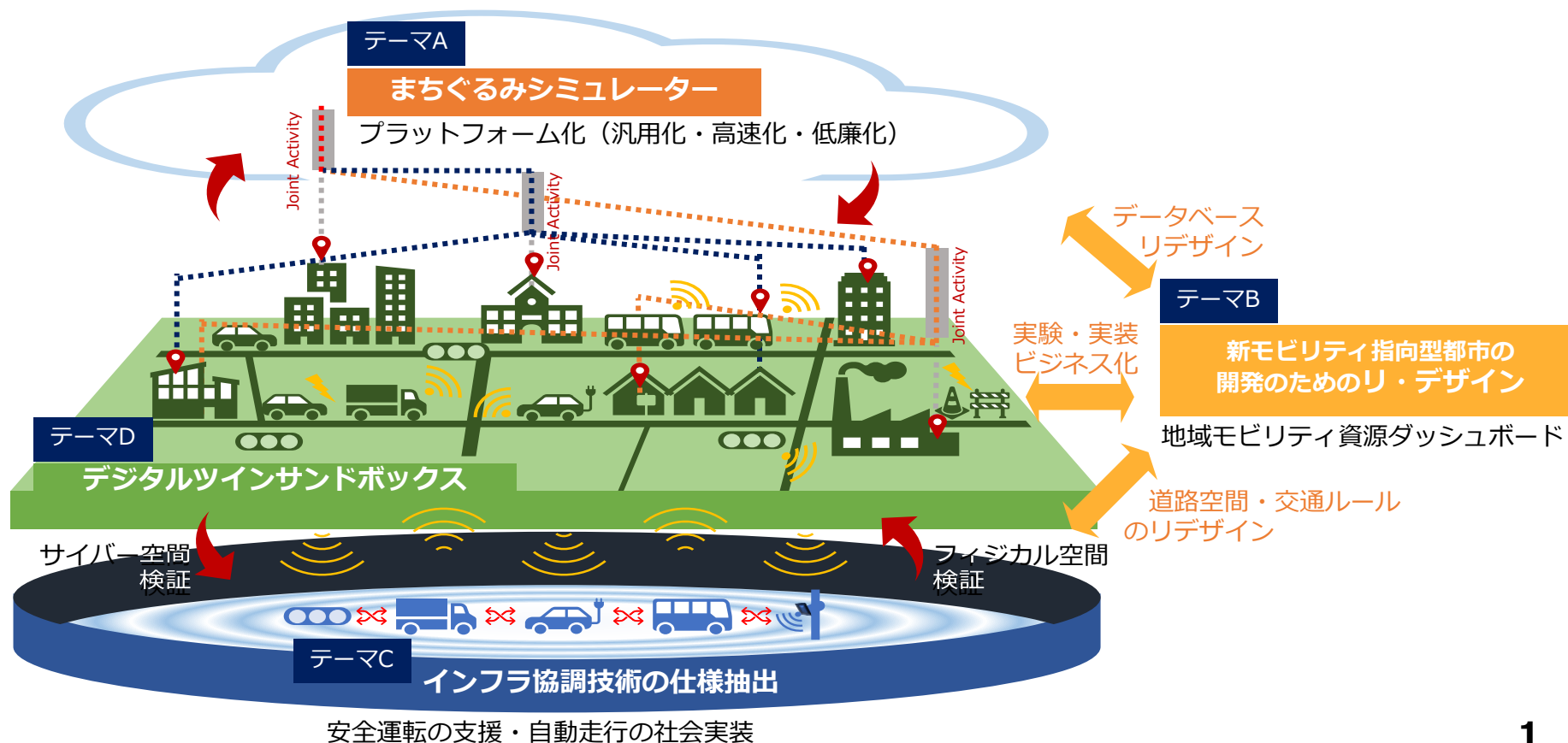
発表者 広島大学 カ石 真

(研究開発統括責任者・広島大学教授・藤原 章正)

新しいモビリティ指向型都市の開発(MOD)の評価

研究開発項目

- ②地域モビリティ診断ガイドラインの作成とモビリティ・リ・デザイン・シミュレーションモデルの開発
- ⑥タクティカル・モビリティ・リ・デザインの実践
- ⑩安全・快適・豊かなモビリティの実現のための、サイバーフィジカル型道路空間デジタルシステム基盤
- ⑫リ・デザインに資する車両、インフラ等の要件抽出

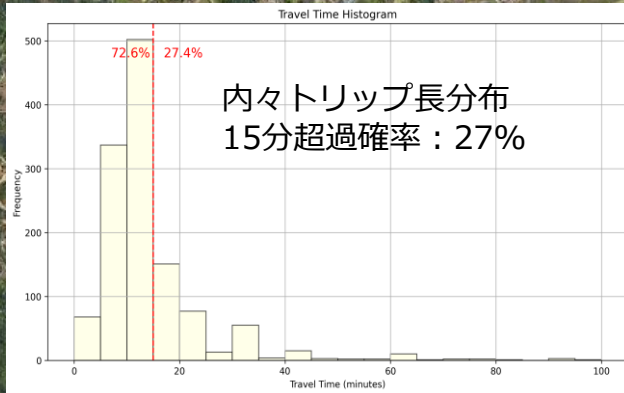


モビリティのリ・デザインによる15分都市の実現

東広島市中心部（西条地区）

88,517人（45,018世帯）／94.82km²

- 高齢化，運転手不足
- 大学城下町
- 自動運転実証経験
- トリップの1/4が15分以上



ブルーボール（都市の交通軸）

広島大学

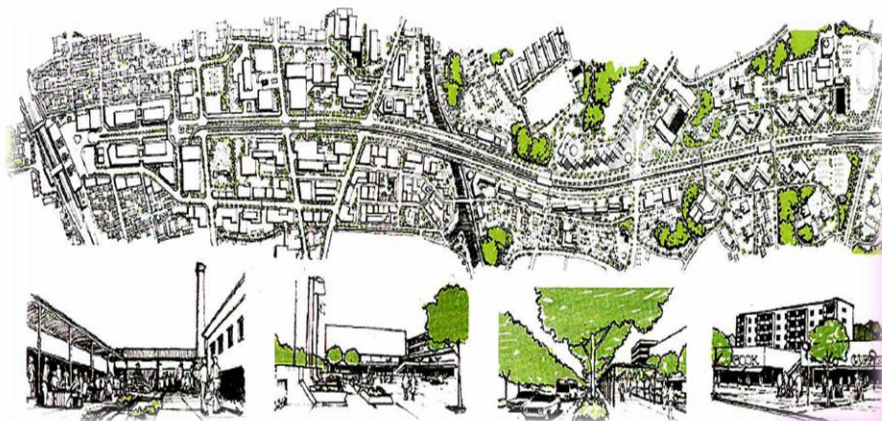
左折する 北西に進む
左折する

東広島駅

Google Earth

MODで「交流の場」の集積都市へ

1970年代 賀茂学園都市構想



Town & Gown Office

2020年代 東広島市次世代学園都市構想

当該地域がグローバルな頭脳循環のハブとなり、人口増と民間主導の活性化を達成する日本のロールモデル



自動運転隊列走行BRT



ラストマイル自動運転シャトル



新モビリティ指向型都市開発 3